



精神科医
瀬戸 睿

人間の心理って変なもので、人によっては世間で嫌われていることをいわれても、逆に喜ぶ人もいます。

安倍首相もそうであろう。独裁者安倍といわれると内心は大喜びしていると思える。ヒットラーやスターリンのように、自分の思うように何でも動かすことが出来、刃向うものは叩きつぶす、それが独裁者なので、彼はそうになりたい。民主主義

などチャンチャラおかしい、ひねりつぶしたい。しかし、現状はそうはいかないので、グーツと我慢し、本音を隠してずる賢く振る舞う。しかも、手段は多数派自民党を利用し、議会制民主主義の形態をとりながら沖縄の民意を無視、マスメディアの圧力、憲法改正、自衛隊を軍隊に等々強権的にやっている。

中国、朝鮮などに侵略したことへのお詫びを戦後70年談話でもいわずふんぞり返っている。ナンヨナリズムと民主主義は相性がいい、多数派は選挙によって意見を通し「民主的」な手続きによ

って市民権等剥奪することが出来る。今、安倍はその手続きによって「憲法改悪」を考えて、日本が戦争できる国にしようとしている。そして、この人を支持する人が50%近くいる。そのことが恐ろしい。

診察室の窓から見る外の世界は暗く悲しい。ワイマール憲法がヒットラーにより、あつという間にナチス一党独裁に変わった愚かを二度と繰り返したくない。

心の悩みを募集します

お寄せ頂いたお悩みを紙面で紹介し(匿名とします)、アドバースいたします。

〒343-0845 越谷市南越谷1-4-53-103号 東武朝日編集部
「心の悩み係」
または、FAX 048-985-12927
まで。

